

百日咳の感染が広がっています

全国的に百日咳の報告数が増加しており、本県でも医療機関からの報告数が2025年第13週(3月24日～3月30日)時点で2025年の累計が56件となり、全数把握となった2018年以降最多となっています。

百日咳は感染力が強く、特に乳幼児が感染すると重症化や死亡に至ることもあります。児童、生徒や成人では一般的に軽症の場合が多いですが、ワクチン未接種の新生児・乳児の感染源となるおそれがありますので、地域の流行情報に注意するとともに、感染の予防と拡大防止に努めていただきますようお願いします。

【県民の皆様へ】個人でできる感染予防策をしっかりと行って下さい。

◎ 基本的な感染対策を続けましょう

○こまめな手洗い・手指消毒

○場面に応じたマスクの着用

○こまめな換気

○休養・栄養・水分補給

◎ 咳が長引く場合は、医療機関を早めに受診しましょう。

◎ 有効な予防法はワクチン接種です。

○百日咳のワクチンは「五種混合ワクチン」として定期接種が行われているので、対象者はワクチンを接種しましょう。(対象年齢生後2ヵ月～7歳6ヵ月)

【百日咳報告数（感染症発生動向調査）】※2025年第13週時点

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
県	41	30	1	1	2	－	31	56
全国	11,947	16,785	2,932	746	499	1,009	4,054	4771

百日咳とは

- 百日咳は、百日咳菌によって起こる感染症です。患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる病原菌によって感染します（飛沫感染）。
- 感染すると、7～10日程度の潜伏期間を経て、風邪症状がみられ、徐々に咳が強くなっていきます（カタル期：約2週間）。その後、短い咳が連続的に起こり、咳の最後に大きく息を吸い込み、痰を出しておさまるという症状を繰り返します（痙咳期：約2～3週間）。激しい咳は徐々におさまりますが、時折、発作性の咳がみられます（回復期：2～3週間）。

【参考】

○県内流行情報の詳細は島根県感染症情報センターのホームページをご覧ください。

<https://www1.pref.shimane.lg.jp/contents/kansen/dis/zensu/524.htm>

○百日咳の概要（厚生労働省HP）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/whooping_cough.html